

東京大学社会科学研究所主催
社研サマーセミナー 2022

参加費
無料

オン
ライン

要事前
申込

2022年8月4日(木) 10:30-16:10

ウィズコロナの 社会科学

10:30-10:40 開会の挨拶 玄田 有史 社会科学研究所 所長

10:40-12:10

ウィズコロナ時代の国際法

中島 啓 社会科学研究所 准教授 専門分野：国際法

パンデミックの当初から今日に至るまで、感染症対策と社会経済活動をいかに両立するかが社会のおよそあらゆる場面で問われてきています。この講義では、国際的な場面で浮上してきた課題をいくつか取り上げ、ウィズコロナ時代の国際関係の法的規律の在り方を考えてみたいと思います。

13:00-14:30

パンデミック・インフォデミックのもとでの人々の行動変容

庄司 匡宏 社会科学研究所 教授 専門分野：開発経済学

新型コロナウイルスパンデミックでは、SNS などを通じて不確実な情報が多く拡散されました。WHO はこのインフォデミック現象に注意を呼びかけていますが、誤情報を完全に遮断することは困難です。本セミナーでは、こうした状況が人々にどのような影響をもたらしたのか、独自アンケート調査に基づいた一連の分析結果を報告します。

14:40-16:10

若者の歩みを追跡するーあの頃の中高生と新型コロナウイルス感染症ー

藤原 翔 社会科学研究所 准教授 専門分野：社会階層論、計量社会学

社会を知るための方法のひとつに社会調査があります。報告者は2015年に中学3年だった生徒を追跡する社会調査を実施し、新型コロナウイルス感染症発生前から発生後の意識や生活の変化をみる事が可能なデータを構築しました。このデータから新型コロナウイルスが若者に与えたインパクトについて考えたいと思います。

司会・コーディネーター 齋藤 宙治 社会科学研究所 准教授
森本 真世 社会科学研究所 准教授

- 会場：オンライン
- 対象：中学校および高等学校教員ほか（一般の方も参加可能）
- 定員：50名
- 申込締切：2022年7月29日(金)
- 受講証：講義をすべて受講された方には受講証を発行します（希望者のみ、PDFにて発行）

- お申込方法：
下記社研ウェブサイトへアクセスし、必要事項をご記入の上、お申込下さい。
参加に際して配慮が必要な方はお申込時にお知らせ下さい。
<https://jwww.iss.u-tokyo.ac.jp/events/220804.html>



お問合せ先：
東京大学社会科学研究所 研究戦略室 社研サマーセミナー担当
Email: summerws@iss.u-tokyo.ac.jp